

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災・安全の意識の徹底	災害時職員が利用者を安全活迅速に避難誘導等が行えるようにする。	・様々なパターンでの避難訓練の実施。 ・災害時での地域への協力依頼、及び具体的な計画。	6ヶ月
2	38	帰宅願望や不穏状態により、心身や生活が不安定・不規則となり活気がなくなる。	帰宅願望や不穏症状が減り、リズムのある生活の中で、心身両面から生き生きとした生活を送って頂く。	センター方式を活用して、その方の生活歴を知り、更にその方にふさわしい言葉掛けや対応の仕方を職員間で統一して、安心した笑顔を引き出すことができる様関わりを作っていく。	12ヶ月
3	20	ご家族や地元・地域とのつながりや交流がまだ不足している。	ご家族様や地元の方々に、グループホームの存在・生活の様子を広く知って頂き、交流の場を持つ。	・広報誌の作成と配布。 ・地元・地域の行事に参加し交流の場を持つ。	12ヶ月
4	26	転倒・離設等の事故再発防止	転倒・離施設等の事故再発防止	転倒・日中に予防の為の体操・散歩・家事援助等をして頂くことで、活動的に生活を送り、筋力等の低下を防ぎ転倒を防止していく。 また、役割を持って頂くことで、生き生きとした生活が送れるようにしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。